

# アウトプット展2024 講演会・トークセッション

講師 認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ理事長 久保田 翠 氏

「表現未満、実験室」他の活動により、2017年芸術選奨文部科学大臣新人賞、  
2022年静岡県文化奨励賞を受賞  
令和4,5年度文部科学省「学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業」受託



「表現未満、」とは、アートが特別な人の特別な行為ではなく、普通の市民一人一人にある自分を表す力、振る舞いを「とるに足らない」と一方的に判断しないで、その人固有の「表現」と捉え、この行為こそが文化創造の軸であるという考え方である。同時に「その人」の存在を丸ごと認めることを目標としており、人権や尊厳の回復にもつながっていく。(2017年度芸術選奨文部科学大臣新人賞代表スピーチより)

久保田さんは、重度の知的障害のある方の、ともすれば「問題行動」とされるような行為を否定せず、障害のある方が生きることそのものをアートと捉えて、地域社会と積極的に交わっていく活動を続けています。講演では、静岡県浜松市にあるクリエイティブサポートレッツにおける新たな価値を問いかける先進的で、刺激的な活動を紹介していただきます。

## ともにいることの可能性

2024年8月11日(日)13:30~16:00 13:00開場

アウガAV多機能ホール 青森市新町1-3-7 アウガ5階

入場無料 事前申し込みは必要ありません

教育・福祉・アートに関わる当事者の方、興味のある方、どなたでも歓迎します。  
青森県における教育・福祉・アートの根っこをみんなで考えてみましょう。

トークセッションパネリスト 講演会に続いて久保田さんにも参加していただきトークセッションを行います。



社会福祉法人あーど理事長  
大橋 一之 氏

2017年国の事業として全国に設置された  
アールブリュットアートセンターを受託。  
以降、他県のセンターとも連携しながら、  
県内各地で障害のある方たちの創作活動の  
活性化を目指した活動を継続。



青森県立美術館学芸員  
奥脇 嵩大 氏

ミュージアムの諸活動やキュレーションの実践  
を手がかりに、形と命の相互扶助の場をつくる  
ことに関心をもつ。近年の主な企画に「美術館  
堆肥化宣言」(2024,青森県立美術館)等。



株式会社BTI  
放課後等デイサービス事業所BLUE PLAYS  
管理者・児童発達支援管理責任者  
溝江 広騎 氏

脳性麻痺で手足に麻痺のある状態で生まれる。  
これまで、福祉に関する研修・講演活動  
を延べ2000人以上に実施。青森県で初めて  
『障害平等研修ファシリテーター』の資格  
を取得。



青森県健康医療福祉部 障がい福祉課  
社会参加推進グループマネージャー  
奥田 淳子 氏

青森県の福祉行政の中で、障がいのある方たちの  
文化・芸術活動やスポーツなど様々な分野  
での参加促進に取り組み、共生社会の実現を  
目指している。